

第2回 沖縄防災連絡会の要旨

1. 日時

平成25年2月6日（水）14：00～15：45

2. 場所

内閣府 沖縄総合事務局 災害対策室（2F）（那覇第2地方合同庁舎2号館）

3. 出席者

別紙 出席者名簿のとおり

4. 議事次第

別紙 議事次第のとおり

5. 要旨

（1）沖縄防災連絡会会長（内閣府沖縄総合事務局長）あいさつ（概要）

沖縄総合事務局においては、沖縄振興の立場から人とモノの流れを支える社会資本整備に取り組んでいるが、一昨年の東日本大震災の経験により、ひとたび震災等でインフラが機能不全となった場合、住民の生活に甚大な影響をおよぼすことが明らかとなった。更にこれは現実味をおびてきてているというところである。

東日本大震災を機に、多くの企業が本土との同時被災を避けるため、沖縄へ進出してきていているということもあり、こうした企業も含めて業務継続を安心して行えるという環境を作ることは、沖縄の経済の自立・発展の上でも非常に重要である。

また、先ごろ発足した新内閣においては、防災・減災・危機管理が施策の大きな柱となっている。

本日午前中にもソロモン諸島でマグニチュード8.0の地震が発生し、米当局から津波警報が出された様であるが、この1月末には沖縄県から津波被害想定が公表されている。それによると津波の最高到達点は石垣で34.9メートル、沖縄本島では国頭で31.7メートルというデータであったと記憶している。これらも踏まえた対応が急がれると考えている。

本連絡会は今回が2回目の開催。何といっても発災した時の初動対応がその後の救難・救援活動、あるいは復旧活動、さらには生活基盤の再編に非常に大きな影響を及ぼすこととなるため、あらかじめ災害対応手順を研究をしておく、実効性のあるものにしていくことが非常に重要であるという考え方で立ち、関係機関の皆様方のご協力を得て、昨年11月に発足したもの。

今回は課題の検討、体制の構築といった事を進める場である部会設置の目処が立ったということで、是非ともその中の検討を加速していただきたい。

昔から「備えあれば憂いなし」との言葉がある。この連絡会における議論が、今後より大きなものとなるよう祈願して開会の挨拶とさせていただく。

（2）決定事項

①第1回沖縄防災連絡会での主な意見

事務局より第1回沖縄防災連絡会における意見と対応方針について報告し、承認された。

②新規参加機関について

以下の機関について、新規に沖縄防災連絡会への参加が承認された。

- ・那覇市消防本部

③部会設置（案）について

本連絡会の検討課題及び検討体制に関する整理を行った上で、検討体制として以下の9つの部会を設けて災害対応策等の検討を進めていくことが承認された。

- ・直轄国道の啓開・復旧のあり方検討部会
- ・主要港湾の啓開、機能復旧のあり方検討部会
- ・那覇空港の機能復旧のあり方検討部会
- ・石油・ガス部会
- ・電力部会
- ・災害時の支援物資物流に関する検討部会
- ・非常時通信手段、情報共有方策に関する検討部会
- ・地理空間情報の共有に関する検討部会
- ・訓練検討部会

④当面の活動スケジュール（案）について

次回連絡会、幹事会について、以下のとおり開催予定とすることが承認された。

- ・平成25年5月 平成25年度第1回沖縄防災連絡会幹事会
- ・平成25年6月 平成25年度第1回沖縄防災連絡会

（5）報告事項

【津波浸水予測の見直しについて】（沖縄県）

「沖縄県津波被害想定検討結果」（平成25年1月28日沖縄県津波被害想定検討委員会発表）の概要及び予測見直しデータの提供について、沖縄県から情報提供を行った。

以上